

<山梨学院短期大学>

建学の精神：徳を樹つること、実践を貴ぶこと
 教育理念：智と情と勇気をそなえ、実践を貫いて、社会に貢献する人間を育成する

学園ビジョン (法人全体の長期計画)
 短期大学ビジョン (短期大学の長期計画)

中期計画【～2031年3月】※2026年1月見直し

目標	1. 学生募集 社会の動向・大学に求められるニーズを踏まえ、戦略的に学生募集活動を展開する。	2. 教育の質 魅力ある授業の展開、学生の主体的な学びの促進、教育環境の充実等により、教育の質の向上を図る。	3. 学生支援 学修・生活環境を整備するとともに、学生の心身の健康・安心安全・多様性等に配慮した学生支援の充実を図る。	4. 就職・キャリア支援 学生の自己実現を目指し、地域と連携した就職・キャリア支援体制の充実を図る。	5. 地域貢献 専門職養成機関として、地域課題解決に向けた各種事業の推進を図る。
重点	① エビデンスに基づく学生募集活動の展開 ② 高大接続事業の推進 ③ 中学生に対する戦略的広報活動の展開 ④ 多様な学生受入れのための選抜方法の見直し ⑤ 学生募集関連事業のデジタル化	① 真に社会に貢献する専門職の養成(出口における質保証) ② 3つのポリシーを軸とした教育活動の展開と改善 ③ 学修者本位の学びの促進 ④ 多様な学びへの対応 ⑤ 教育DXの推進(ICT環境整備、学生・教職員のICTスキル向上)	① 学生の心身の健康に係る支援体制の強化 ② 安全安心に配慮した危機管理体制の充実 ③ 多様な学生への支援体制の確立 ④ 学生の主体的な活動の支援 ⑤ 奨学制度の導入・活用 ⑥ 学生にとって心地よい学修・生活環境の整備	① 学生の自己実現につながる就職支援の充実 ② 就職支援における地域との連携の強化 ③ 進学・編入学支援の強化 ④ 卒業生へのキャリア支援体制の整備	① 地域と連携した教育・研究の取組の充実 ② 自治体、企業等との連携協定に基づく事業推進 ③ 専門職の学び直しの機会の提供 ④ 地域住民に向けた学びの機会の提供 ⑤ 地域に向けた情報の発信
責任者	学長	学長	学長	学長	学長
主たる委員会・組織等	将来構想・情報戦略委員会(IR) 入学試験委員会	将来構想・情報戦略委員会(IR) カリキュラム委員会 教職課程運営委員会 学外実習委員会 FD委員会	将来構想・情報戦略委員会(IR) 学生総合支援委員会	将来構想・情報戦略委員会(IR) 就職・キャリア支援委員会	将来構想・情報戦略委員会(IR) 地域連携研究センター運営委員会
主たる事務組織	短期大学事務局	短期大学事務局	短期大学事務局	短期大学事務局	地域連携研究センター 短期大学事務局

執行責任者	入学試験委員会委員長 アドミッション・オフィサー	短期大学教務部長 カリキュラム・コーディネーター (カリキュラム委員会委員長)	短期大学学生部長 (学生総合支援委員会委員長)	就職・キャリア支援委員会委員長	地域連携研究センター長 (地域連携研究センター運営委員会委員長)			
学科/事務組織等	食物栄養科・保育科(専攻科を含む) 入学試験委員会 短期大学事務局	食物栄養科・保育科(専攻科を含む) 教務部 短期大学事務局	食物栄養科・保育科(専攻科を含む) 学生総合支援委員会 短期大学事務局	食物栄養科・保育科(専攻科を含む) 就職・キャリア支援委員会 短期大学事務局	食物栄養科・保育科(専攻科を含む) 地域連携研究センター運営委員会 短期大学事務局			
2025	① エビデンスに基づく学生募集活動を企画し実施する ② 県内高等学校の探究活動や食・保育に関する選択授業の実施実態を調査する ③ 中学校における進路・キャリア教育の実態を踏まえながら、食と保育の専門職団体と連携し、中学生を対象とした学生募集戦略を検討する ④ 社会人志願者を対象とした長期履修学生制度の実質化に向けた検討を行うとともに、高校生のニーズに合わせた選抜方法の見直しを継続する ⑤ 入学前学習のオンライン化を促進するとともにウェブ出願の導入も検討する	① 卒業時の質保証の取組の強化(PROPERTIES)を継続する ② 真に社会に貢献する専門職像を明確にし、3つのポリシーを軸とした教育活動を展開する ③ 外部機関と連携した地域の課題解決型学習を推進し、学生の興味関心に基づく科目選択を可能とする教育課程の充実を図る ④ FD活動を通して授業改善を継続する ⑤ 年度内PCの完全撤去に向けて、学内のICT環境の見直し・改善・整備を行う	① 心身の健康に関する支援を継続展開するとともに、酒折キャンパスの危機管理体制の改善を継続する ② 多様な学生の支援体制の見直し・改善の一環として、出口支援に向けた体制の整備を継続する ③ SA活動や学友会を中心とした課外活動の振興を図る ④ 学修支援新制度の活用を継続する ⑤ 学生参画による自己点検・評価を踏まえて、より安全で安心な生活環境を整備する	① 学生の自己実現につながる就職支援を継続する ② 卒業生および卒業生の就職先等の組織と就職支援活動における連携体制の運用を継続する ③ 進学・編入学支援を継続する ④ 卒業生へのキャリア支援体制の整備を継続する	① 地域課題に関する共同研究を開始する ② 自治体、企業等との連携協定に基づく事業を拡充するとともに、新規に自治体・企業等との連携を進める ③ 専門職団体と連携し、学び直しの機会の提供を継続する ④ ニーズとシーズの観点から公開講座のあり方を見直し、専門職養成の知見を活かした公開講座の提供体制を再整備する ⑤ 地域に向けた情報発信強化のため、本学ウェブサイトの見直し・改善を継続的に行う			
	2026	① エビデンスに基づく学生募集活動を企画し実施する ② 県内高等学校の探究活動や食・保育に関する選択授業における連携事業を検討する ③ 中学校における進路・キャリア教育と連動した広報活動の内容を検討する ④ 高校生のニーズに合わせた選抜方法の見直しを継続する ⑤ 入学前学習のオンライン化を促進する	① 卒業時の質保証の取組の強化(PROPERTIES)を継続する ② 真に社会に貢献する専門職像を明確にし、3つのポリシーを軸とした教育活動を展開する ③ 外部機関と連携した地域の課題解決型学習を推進し、学生の興味関心に基づく科目選択を可能とする教育課程の充実を図る ④ 学年層の柔軟化(3学期制/4学期制)、卒業証明書及び修了証明書のデジタル化を検討する ⑤ BYODの推進、ICT環境の改善及び整備を図るとともに、学生及び教員のICTスキルの向上に取り組む	① 心身の健康に関する支援体制のPDCAを確立しさらに充実させる ② 全学一斉の防災訓練を継続実施するとともに、酒折キャンパスの危機管理体制の見直し・改善を継続する ③ 多様な学生の支援体制の見直し・改善の一環として、出口支援に向けた体制の拡充を図る ④ SA活動や学友会を中心とした課外活動の振興を継続する ⑤ 学修支援新制度の活用を継続する ⑥ 学生参画による自己点検・評価を踏まえて、より安全で安心な生活環境を整備する	① 学生の自己実現につながる就職支援を継続する ② 卒業生および卒業生の就職先等の組織と就職支援活動における連携体制の運用を継続する ③ 進学・編入学支援を継続する ④ 卒業生へのキャリア支援体制の整備を継続する	① 地域課題に関する共同研究を継続する ② 自治体、企業等との連携協定に基づく事業を継続的に実施していくためのPDCA体制を確立する ③ 専門職団体と連携し、学び直しの機会の提供を継続する ④ 専門職養成の知見を活かした公開講座の提供を継続する ⑤ 地域に向けた情報発信強化のため、本学ウェブサイトの見直し・改善を継続的に行う		
		2027	① エビデンスに基づく学生募集活動を企画し実施する ② 県内高等学校の探究活動や食・保育に関する選択授業における連携事業を実施する ③ 中学校における進路・キャリア教育と連動した広報活動を実施する ④ 高校生のニーズに合わせた選抜方法の見直しを継続する ⑤ 入学前学習等、デジタル化された事業を改善する	① 卒業時の質保証の取組の強化(PROPERTIES)を継続する ② 真に社会に貢献する専門職像を明確にし、3つのポリシーを軸とした教育活動を展開する ③ 外部機関と連携した地域の課題解決型学習を推進し、学生の興味関心に基づく科目選択を可能とする教育課程の充実を図る ④ 学年層の柔軟化(3学期制/4学期制)、卒業証明書及び修了証明書のデジタル化を検討する ⑤ 教育DX推進のために、老朽化した教室環境の改善に取り組む	① 心身の健康に関する支援体制のPDCAを実施するとともに、教職員への研修を進める ② 全学一斉の防災訓練を継続実施するとともに、防災訓練の振り返りを踏まえて防災マニュアルの改善を検討する ③ 多様な学生の支援体制を継続して構築し、特に学生相談室等との学内連携を強化する ④ SA活動や学友会を中心とした課外活動の振興を継続する ⑤ 学修支援新制度の活用を継続する ⑥ 学生参画による自己点検・評価を踏まえて、学生が安心して生活できる環境を整備する	① 学生の自己実現につながる就職支援を継続する ② 卒業生および卒業生の就職先等の組織と就職支援活動における連携体制の運用を継続する ③ 進学・編入学支援を継続する ④ 卒業生へのキャリア支援体制の整備を継続する	① 地域課題解決のための教育・研究の充実を図る ② 自治体、企業等との連携協定に基づく事業を継続的に実施していくためのPDCA体制を確立する ③ 専門職団体と連携し、学び直しの機会の提供を継続する ④ 地域・社会のニーズに合わせて、実施規模・内容の見直しを行いながら、専門職養成の知見を活かした公開講座の提供を継続する ⑤ 地域に向けた情報発信強化のため、本学ウェブサイトの見直し・改善を継続的に行う	
			2028	① エビデンスに基づく学生募集活動を企画し実施する ② 県内高等学校の探究活動や食・保育に関する選択授業における連携事業を改善・実施する ③ 中学校における進路・キャリア教育と連動した広報活動を改善・実施する ④ 高校生のニーズに合わせた選抜方法の見直しを継続する ⑤ 入学前学習等、デジタル化された事業を改善する	① 卒業時の質保証の取組の強化(PROPERTIES)を継続する ② 真に社会に貢献する専門職像を明確にし、3つのポリシーを軸とした教育活動を展開する ③ 外部機関と連携した地域の課題解決型学習を推進し、学生の興味関心に基づく科目選択を可能とする教育課程の充実を図る ④ 学年層の柔軟化(3学期制/4学期制)、卒業証明書及び修了証明書のデジタル化、を検討・導入する ⑤ 教育DX推進のために、老朽化した教室環境の改善に取り組む	① 心身の健康に関する支援体制のPDCAを実施するとともに、教職員への研修を進める ② 全学一斉の防災訓練を継続実施するとともに、防災訓練の振り返りを踏まえて防災マニュアルの改善を検討する ③ 多様な学生の支援体制を継続していくとともに、合理的配慮についての振り返りをもちに学内体制について見直し改善を行う ④ SA活動や学友会を中心とした課外活動について学生の実態に合わせた振興を実施する ⑤ 学修支援新制度の活用を継続する ⑥ 学生参画による自己点検・評価を踏まえ、学生が安心して生活できる環境を整備する	① 学生の自己実現につながる就職支援を継続する ② 卒業生および卒業生の就職先等の組織と就職支援活動における連携体制の運用を継続する ③ 進学・編入学支援を継続する ④ 卒業生へのキャリア支援体制の整備を継続する	① 地域課題解決のための教育・研究の充実を図るとともに、研究成果の発信体制を整備する ② 自治体、企業等との連携協定と相互の事業計画に基づき、連携事業を継続する ③ 専門職団体と連携し、学び直しの機会の提供の拡充を図る ④ 専門職養成の知見を活かした公開講座の提供を継続する ⑤ 地域に向けた情報発信強化のため、本学ウェブサイトの見直し・改善を継続的に行う
				2029	① エビデンスに基づく学生募集活動を企画し実施する ② 県内高等学校の探究活動や食・保育に関する選択授業における連携事業を拡充する ③ 中学校における進路・キャリア教育と連動した広報活動を拡充する ④ 高校生のニーズに合わせた選抜方法の見直しを継続する ⑤ 入学前学習等、デジタル化された事業を改善する	① 卒業時の質保証の取組の強化(PROPERTIES)を継続する ② 真に社会に貢献する専門職像を明確にし、3つのポリシーを軸とした教育活動を展開する ③ 外部機関と連携した地域の課題解決型学習を推進し、学生の興味関心に基づく科目選択を可能とする教育課程の充実を図る ④ 学年層の柔軟化(3学期制/4学期制)、卒業証明書及び修了証明書のデジタル化、を検討・導入する ⑤ 教育DX推進のために、老朽化した教室環境の改善に取り組む	① 心身の健康に関する支援体制のPDCAを実施するとともに、教職員への研修を進める ② 全学一斉の防災訓練を継続実施するとともに、防災訓練の振り返りを踏まえて防災マニュアルの改善を検討する ③ 多様な学生の支援体制を継続していくとともに、合理的配慮についての振り返りをもちに学内体制について見直し改善を行う ④ SA活動や学友会を中心とした課外活動について学生の実態に合わせた振興を実施する ⑤ 学修支援新制度の活用を継続する ⑥ 学生参画による自己点検・評価を踏まえ、学生が安心して生活できる環境を整備する	① 学生の自己実現につながる就職支援を継続する ② 卒業生および卒業生の就職先等の組織と就職支援活動における連携体制の運用を継続する ③ 進学・編入学支援を継続する ④ 卒業生へのキャリア支援体制の整備を継続する
2030					① エビデンスに基づく学生募集活動を継続する ② 県内高等学校の探究活動や食・保育に関する選択授業における連携事業を拡充する ③ 中学校における進路・キャリア教育と連動した広報活動を拡充する ④ 高校生のニーズに合わせた選抜方法の見直しを継続する ⑤ 入学前学習等、デジタル化された事業を拡充する	① 卒業時の質保証の取組の強化(PROPERTIES)を継続する ② 真に社会に貢献する専門職像を明確にし、3つのポリシーを軸とした教育活動を展開する ③ 外部機関と連携した地域の課題解決型学習を推進し、学生の興味関心に基づく科目選択を可能とする教育課程の充実を図る ④ 学年層の柔軟化(3学期制/4学期制)、卒業証明書及び修了証明書のデジタル化、を検討・導入する ⑤ 教育DX推進のために、老朽化した教室環境の改善に取り組む	① 心身の健康に関する支援体制のPDCAを実施するとともに、教職員への研修を進める ② 全学一斉の防災訓練を継続実施するとともに、防災訓練の振り返りを踏まえて防災マニュアルの改善を検討する ③ 多様な学生の支援体制を継続していくとともに、合理的配慮についての振り返りをもちに学内体制について見直し改善を継続する ④ SA活動や学友会を中心とした課外活動について学生の実態に合わせた振興を継続する ⑤ 学修支援新制度の活用を継続する ⑥ 学生参画による自己点検・評価を踏まえ、学生が安心して生活できる環境を整備する	① 学生の自己実現につながる就職支援を継続する ② 卒業生および卒業生の就職先等の組織と就職支援活動における連携体制の運用を継続する ③ 進学・編入学支援を継続する ④ 卒業生へのキャリア支援体制の整備を継続する

執行責任者	学長
学科/事務組織等	食物栄養科・保育科(専攻科保育専攻を含む) 将来構想・情報戦略委員会(IR)、自己点検・評価委員会、学外助言評価委員会 地域連携研究センター 短期大学事務局
事業計画名・業務内容	自己点検・評価

(注1) 「マスタープラン」欄の「重点」については、優先順位に応じて列記している。
 (注2) 「マスタープラン」欄の「重点」について特に期限を定めていない場合は、中期計画終了時(2031年3月まで)を期限とする。